

# 鉄道ピクトリアル

2013年5月号 Vol.63 No.5 通巻No.875

## <特集> 横浜・川崎の鉄道

### ■表 紙 横浜・川崎の鉄道3景 ……河原慶明・岩永伸一・大里信之

横浜線205系(河原)／みなとみらい線元町・中華街駅(岩永)／神奈川臨海鉄道(大里)

### ■グラフ

#### 港 ニュータウン 工業地帯—横浜・川崎—巡り— (1~8ページ)

河原慶明・大里信之・加藤和毅・早川昭文・杉崎健一

松田 巧・澤木良直・岩永伸一・田島基久・太田正行

#### 1970年代 横浜・川崎の鉄道 (92~93ページ)

小林 武

\*

#### 1950年代 横浜・川崎各地のスナップから …伊藤 昭・伊藤威信… 26 変貌する横浜・川崎の主要駅6選

写真: 燃田 健・大里信之ほか… 30

#### 横浜線 昔日の光景 ……写真: 長谷川 明・林 嶽ほか… 34

#### 最末期の横浜臨港線 ……写真: 藤岡雄一… 36

#### 20年前の神奈川臨海鉄道 点景—1990年代初頭の塩浜・本牧—

持田 誠… 38

#### 1960年代の鶴見線界隈 ……清水 武… 40

\*

#### Pictorial Color Gallery 筑前内野の春 ……小路たかし… 89

JR東日本常磐線特急車勢揃い／JR東日本211系長野車	94~97
／JR四国1500形7次車／京浜急行電鉄2000形2011編成	110~112
が塗色復元／肥薩おれんじ鉄道「おれんじ食堂」／阪堺電	
気軌道「堺トラム」登場／京王電鉄ダイヤ改定実施ほか	

#### トピック・フォト (各地・関東・中部・関西)… 98

#### 昭和後期の鉄道情景(12) 昭和の東急東横線 渋谷・代官山界隈

巴川 享則… 106

#### ミャンマー国鉄(MR)の日本型車両近況 ……斎藤 幹雄… 108

### ■本文

#### 今月の話題: 横浜・川崎の鉄道 ……編集部… 9

#### 横浜、川崎の鉄道—鉄道発祥の地であり、今なお発展を続ける横浜・川崎の鉄道群—

山田 亮… 10

#### 横浜線 近代化の道 ……今田 保… 41

#### 横浜の臨港鉄道盛衰史 ……澤内 一晃… 52

#### 横浜市営地下鉄1000形が歩んだ34年 ……岡田 誠… 58

\*

#### 惜別 京阪3000系特急車—あんな出来事、こんな思い出— 3

清水 祥史… 70

#### 近畿日本鉄道50000系「しまかぜ」…山井晃一郎… 76

#### 絵葉書にみる在りし日の軽便鉄道(5) 帝室林野管理局(木曽森林)鉄道小川線・王滝線

白土 貞夫… 86

#### 鉄道の話題 ……編集部… 88

#### ミャンマーへ行った日本型DC 2013 ……斎藤 幹雄… 113

#### 101系通勤形電車歴表(2) ……作成: 平石大貴… 123

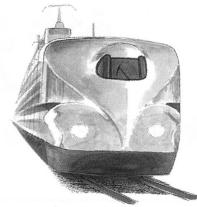
#### 2月のメモ帳 …… 134

#### 読者短信・情報ファイル …… 135

#### 後部車から …… 139

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット: 山本茂樹

今  
月  
の  
話  
題

### 横浜・川崎の鉄道

神奈川県の県庁所在地として発展してきた横浜は隣接する川崎とともに、わが国で有数の人口集積地であり、商工業も多数立地し、神奈川県の基盤を形成する大都市である。人口は横浜市、川崎市を合わせて513万人に及んでいる。明治期におけるわが国鉄道の発祥は東京—横浜間ということもあり、歴史的にも横浜・川崎の両都市は鉄道との関わりが深く、鉄道の内容も多岐にわたる。その一方、首都圏を形成する主要地域でもあり、たとえば東海道線の一通過地としてテーマを設定したことは度々あったが、局地的な視点で鉄道網の歴史、地域における鉄道の話題などがまとめて発表される機会は多くはなかった。そこで、本号では横浜・川崎の両大都市を主役として捉え、鉄道のさまざまな事柄を概観してみよう構成したものである。

さて、横浜・川崎両都市には日本を代表する幹線路線として新幹線、東海道線が横断しており、横浜線などJRの通勤路線、東京から放射状に路線を形成する京浜急行電鉄をはじめとした大手民鉄、また、横浜を起点とした相模鉄道、横浜都心から郊外へ延伸され市民の足として重要な役割を担う横浜市営地下鉄、新交通の横浜新都市交通といった多彩な鉄道に接することができる。古くは横浜市電、さらに東京湾岸に広がる京浜工業地帯、港湾地区の物資輸送を担った貨物線や側線が多数存在し、独特の風情を醸し出していた。こうした貨物路線は、神奈川臨海鉄道が現代に合致したシステムで輸送を行っているが、多くは姿を消し、跡地は新都心として整備され、昔日の面影は劇的に失われている。鉄道の様変わりが端的に見て取れ、鉄道の発展性に理解が深まる、それが横浜・川崎の鉄道をめぐるひとつの特徴といえるのかも知れない。

TETSUDŌTOSHO KANKOKAI  
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda  
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan